

平成27年度 試験研究・知識普及概要

《研究課題名・知識普及名》

車載カメラによる『魔の時間帯(薄暮)』の歩行者等の障害物検出

《申請者》

フリガナ：カブシキカイシャ トプスシステムズ
所属機関・団体：株式会社トプスシステムズ
職位・氏名：代表取締役 松本 祐教

《研究・知識普及の概要》

車の安全性を向上するADAS（先進運転者支援システム）、そして2020年代の車の自動運転に向けて、従来のミリ波レーダーによる測距システムに加えて、車載カメラを活用した画像認識システムの高度化への期待が高まっている。

画像認識システムは、歩行者や自転車・バイク・自動車等の車両など、走行する自動車から障害物を瞬時に見分ける機能を低コストで実現することができる。しかし、暗闇や雨・霧などの条件に弱いという課題がある。

トプスシステムズ社は、NEDO「グリーンIT」プロジェクトで研究開発した独自方式の高性能画像認識用メニーコアを活用して、車載カメラにより150fps（フレーム/秒）という高速で移動物体（障害物）の検出が可能なプロトタイプシステムの開発に成功した。

本試験研究では、このプロトタイプシステムを発展させ、特に夕方や夜間に歩行者や自転車・バイク・自動車等の障害物を検出可能なシステムを実現するための試験研究を実施する。